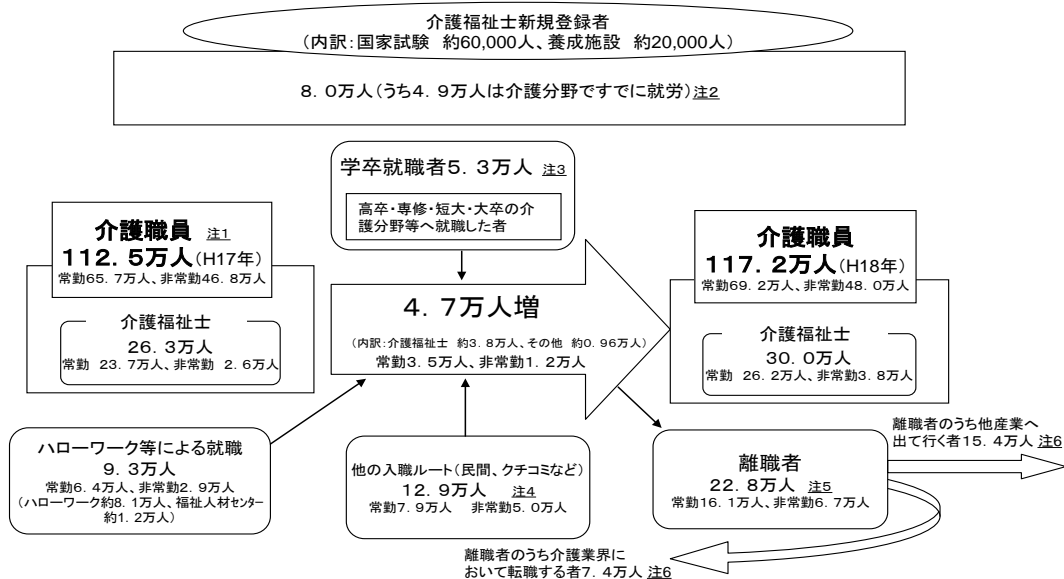


介護分野における従事者の動向等について



注1: 介護保険従事者数は「介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部、毎年10月1日現在)
 注2: 8.0万人は、介護福祉士登録者のH18年総数とH17年総数の差。(厚生労働省社会援護局、毎年9月末現在)
 注3: 大卒 11,711人、短大 19,287人、専修 9,984人、高卒 11,997人(文部科学省「学校基本調査」、平成18年5月1日現在における前年度間卒業業者の状況)を足した数。
 注4: 12.9万人は、他のルートからの入職者数や離職者数を差し引いたうえでの推計値。
 注5: 離職者数は、H17年介護保険従事者数112.5万人に離職率20.3%をかけて算出。常勤の離職者数は、介護保険従事者のうち常勤者65.7万人に常勤者(正社員と非正社員のうち常勤者)の離職率24.6%をかけて算出。非常勤については離職者数から常勤の離職者数を差し引いた数。
 注6: 介護業界において転職する者の数は、離職者の動向で、直前は介護に従事していた率32.6%を離職者数22.8万にかけて算出。他産業へ出て行く者の数は、離職者数22.8万人から、介護業界において転職する者の数7.4万人を差し引いた数。(注5、6(財)介護労働安定センター「平成18年度介護労働実態調査」より)

(2) 離職の状況について

全産業平均の離職率は、全体では15.4%、正社員12.2%、非正社員25.9%となっている(「平成19年度雇用動向調査」(厚生労働省)より)。介護分野における離職率(職種別)は、全体では21.6%、正社員20.4%、非正社員32.7%となっている。

離職率について階級別に事業所の割合をみると、離職率が10%未満である事業所の割合が37.5%である一方、離職率が30%以上ある事業所の割合が28.9%であるなど、すべての事業所において離職率が高いわけではなく、職員の定着が良い事業所もあるが悪い事業所もあるといった状況となっている。

○ 離職率(全産業との比較)

	全体	正社員	非正社員
全産業平均	15.4%	12.2%	25.9%
介護職員(全体)	21.6%	20.0%	22.8%

※全産業平均の出典は「平成19年度雇用動向調査結果(厚生労働省)」

※全産業平均については、「全体」は「常用労働者」、「正社員」は「一般労働者」、「非正社員」は「パートタイム労働者」を指す。

(出典)平成19年度介護労働実態調査((財)介護労働安定センター)